

すぎなみ大人“熟”してる？

J u k u s i t e r u ?

T I M E S ' 1 1

V O L . 1 7

平成24年2月15日発行

発刊元：まつがわかみなと（事務局）

東京都杉並区梅里 1-22-32(社会教育センター内) TEL 3317-6621 FAX 3317-6620

率直に対話のできる関係！

それが、アイデアと活動力の源泉となる

2月13日
昼コース

第16回目の昼コース。今回もグループワークを進めていく回となっていたが、講座開始後、もう事務局側がなにも言わずとも、適当に話し合いの空間をつくり、活動を進めていく。自由と自立、そんな言葉がびったりな空気が、教室の中に、また受講生の中に充満している、そんな様子である。2つのグループの様子を眺めていると、みなさん本当によく話す、驚くほどである。十数回の時間をともにしてきたこともあってか、自分の言葉がきつと相手に伝わるだろうし、否定されはしないだろう、という確信があるのだろう。頭に思い浮かんだアイデアや言葉をどんどん出し合っているし、表現しあっている。

ある哲学者の言葉を借りれば、このような、「仲間と率直に話し合い、お互いの意見の違いを示し、自分らしさを表現しあい、そして他者と協力する雰囲気」が育まれたとき、こうした活動が花開く、らしい。まさにこのような様子を示しているのだと考えさせられる。

さて、次回がいよいよ講座としての最終回。この1年間の学びを振り返って、それぞれの実感を文章にしてまとめること、そして自分のこれからの「生き方」を絵や図にしてまとめる宿題が出た。そこでどのような実感・学び・変化、そういったものが見られるのか、今から非常に楽しみだ。（記事：川上）

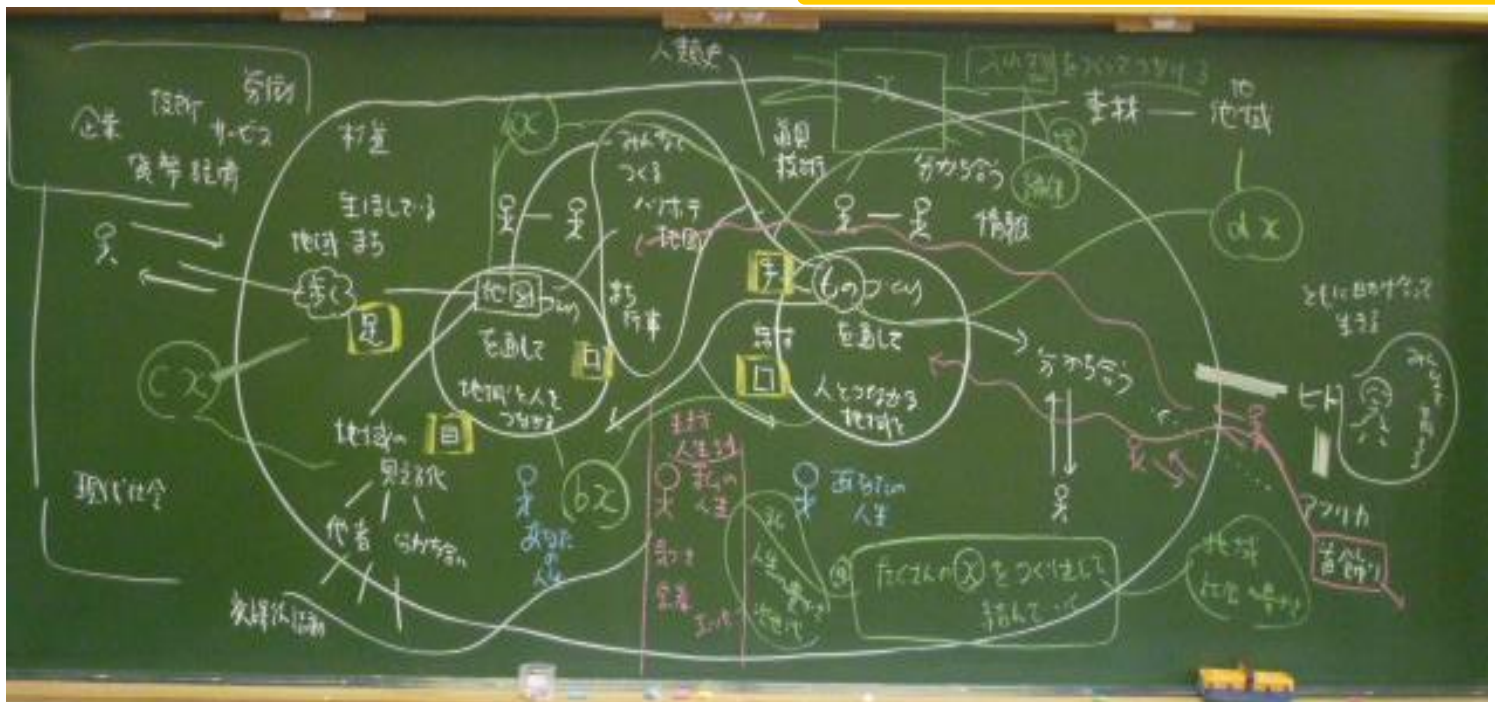
わがままっぷ作成チーム

自分たちオリジナルの視点をふんだんにとりいれたMAPづくり。その名も「わがままっぷ」。今回は、それぞれが撮影してきたまちのポイントを出し合い情報共有。そのあとには、どう発信するかその方法を模索中！！



ものづくりチーム

セッション1階のショーウィンドウへの展示を終え、今回は成果発表会を目指して、発信の仕方のアイデア談義。言葉だけではない実際に「もの」を通じての関係性の広がりを感じてきたメンバーは、発表会でも劇場型で見せることを画策中。乞うご期待！



ワークショップで得たことを話し合う

2月1日
夜コース

大人塾名物ワールドカフェ開催！



実践の感想を聞いての広石さんの
黒板書（抜粋）

ワークショップが終わり、今日はふりかえり。各チームに分かれて、参加者からの感想やコメントをみて話し合い、チームとしての感想を発表した。そして、各自が書いたふりかえりシートも参考に広石さんからコメントをもらった（黒板参照）。「意見が違う人もいたと思いますが、その人とやることの意味を考え続けることから新しい活動が生まれるのです。」というアドバイスも。

次は大人塾名物「ワールドカフェ」を実施。ワールドカフェで何？目的は？広石さん曰く「自分の気づきや強みって、よくわからないものです。ワールドカフェで経験をふりかえる、また他の人の経験を聞いて自分の経験を話すことで新しい発見が出来ます。」なるほど！お題は下の3つ。テーブルでお題が決められていて、20分づつ3セット、受講生全員がすべてのテーブルを回る。自分の想いを話しながら、模造紙に記入、そうか、そういう考えもあるか、と納得。皆とても楽しそうであった。お題の中には大人塾の1年を振り返るものもあり、次回のアクション宣言の参考になりそうだ。でも何よりも今回のワークショップの経験が、受講生にも大きな自信と目標を与えたことがよくわかったワールドカフェであった。（湊）

- 当初の目的が達成できたかどうか考える。
 - 参加者が積極的・楽しんでもらえた → 大切なこと！参加者の積極性を引き出すように工夫するのがポイント。トラブルを楽しんだり、逆手にとる。
 - 参加者をヨム・・・参加者の様子を見ながら手を貸すようにする。参加者同士のコミュニケーションを回るように
- ＜ワークショップでは・・・＞
- テーマの明確性・・・土曜の午後をつぶすのだから、軽いものと考えずに有意義なテーマを！
 - 誰が対象？ ・ 時間配分（思ったより時間がかかるもの） ・ 各時間で何をするか？
 - グループ内の共有＝相互理解納得いくまで話し合う年代が違っててもチャレンジを重ねていくことが大切 → 年齢・環境を超えて共通の言語を見つける
 - ひとり一人が内容を理解する→自分の掘り下げ→そこから話し合う→つき合わせ（チームでやることの意味）
 - 継続を考える＊地域とのつながり方

ワールドカフェで想いとキツキを共有



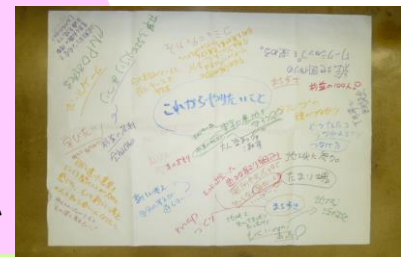
大人塾で自分が得たこと

- 自分がどんな人間であるか気づいた。 ・ 人の話を聞き認め合うことの大切さ。
- 地縁が気になっていたのがよかった。 ・ チームの大切さを知った。 ・ 杉並の魅力
- さらに新しい考えや意見を持っている人と接したいと思うようになった。
- ふれあいの機会が多くなった。 ・ 勇気・仲間。財産が増えた。ほか

これからやりたいこと

- 他人とのつながり方をもっと深く考えたい！ ・ 井草ふるさとまつりをやる！
- 会社以外の自分の名刺を持ちたい。 ・ NPOをつくる。 ・ 地域に参加 ・ 顔見知り
- が電車の8割を目指す。 ・ 今あるコミュニティで目的を参加者と共有できるワークショップをしたい。 ・ たまり場づくり ・ 地域活性化 ・ 東京の農地を守りたい！ ほか

テクテク・・・



杉並のつながりづくりのために

- まずはアクションが大事。 ・ 情報を知ること、私たちが知らせること ・ 人と人をつなぐ
- コーディネーターが大事。 ・ まずは大人塾のつながりを大切にする。
- 地域を越えたつながり、友達をつくる。 ・ 合わないものでも関わっておこうという気持ちが大事。 ・ 商店街と協力する。ほか



◆“すぎなみ大人” 熟” してる？の発行にあたって◆

この新聞は事務局スタッフ川上・湊の独断と偏見と多少の事実に基づき作成しております。